

ま ち の 話 題

豊岡

豊岡菓子フェスタを開催 食べんちえい、遊びんちえい、 歩きんちえい

4月4日、市役所前広場で、菓祖・田道間守のふるさと豊岡のお菓子の祭典「豊岡菓子フェスタ」(同実行委員会主催)が、豊岡の春まつりに併せ、初めて開催されました。

菓子フェスタの目玉「豊岡の銘菓大集合」では、豊岡のお菓子が抹茶付きで200円で食べられるとあり、開会前から大行列ができ、約1時間で完売するという人気振りでした。また、お菓子のプレゼントや、豊岡のゆるキャラとの記念撮影会があり、子どもたちからは、終始笑みがこぼれていました。大開通りを歩くウォークラリーには約600人が参加し、晴天の中、さわやかな汗を流しました。



▲りく娘からお菓子をもらい、ゆるキャラと握手する子どもたち

城崎

大師山名物「かわらけ投げ」

地域の名物が20年ぶりに復活！

3月28日、城崎町湯島の大師山山頂で、再建された温泉寺奥之院のお披露目とともに、「かわらけ投げ」が復活しました。

約20年前まで地域で親しまれていた「かわらけ投げ」は、「一願成就」と書かれた的に目掛けて素焼きの小皿を投げるもので、3皿200円で楽しむことができます。

参加し、見事に命中させた、田鶴野小学校2年の石田桃香さんは「難しかったけど、楽しかった。景色もきれいだなと思った」と話し、また、温泉寺の小川祐章さんは「新たな観光の素材になり、訪れる方々の心安らぐ場にもなってほしい」と話していました。



▲城崎温泉街を一望できる所で「かわらけ投げ」に挑戦する参加者たち

竹野

第1回豊岡市ジオツアー 眼前に太古の風景が広がる！

3月28日、竹野海岸コースで開催されたジオツアーに、市民たち約40人が参加しました。猫崎半島(竹野町竹野)沿いを通った参加者は、滑りやすい足元に注意しながら、岸壁にはつきりと残るゾウの足跡化石などを前に「海岸が大陸の一部であった」など、ガイドの説明に熱心に耳を傾けていました。また「大昔の痕跡」を探す手掛かりを聞いた子どもたちは、手にした石の中に葉の化石を見つけたと、驚くと同時に感動していました。

その後、一行は、はさかり岩を見学するなど、竹野海岸の織り成す美しさを再認識していました。



▲ガイドの説明に大昔の風景が頭の中に再現される…

日高

日高町奈佐路に人工巣塔設置

コウノトリがきつと
気に入ってくれるはず！

3月21日、日高町奈佐路にコウノトリ人工巣塔が設置されました。これは、「日高にコウノトリの定着を！」との地域の熱い思いを受け、日高町商工会の皆さんが寄付を募り、商工会合併記念事業として取り組まれたものです。巣台は、前日に神鍋高原で開催された独身男女出会いイベントで、参加者が稲わらなどを敷き詰め手作りました。

当日は、地元の子どもたちが、隣接するピオトープに、フナの稚魚(約100匹)を放流するセレモニーも行われました。

近い将来、日高に住むコウノトリが、この巣塔で新しい命を育むことを期待しています。



▲多くの地域住民が期待を込めて見守る中、人工巣塔を設置

出石

ドクターヘリ運航前模擬訓練
重傷患者の安全確保を
より迅速に！

4月2日、出石中学校(出石町弘原)グラウンドを皮切りに、公立豊岡病院(戸牧)のドクターヘリ(4月17日運航開始)の模擬訓練が実施されました。重症患者の発生を想定し、病院・医師と消防署(救急)との連携で、迅速な患者の安全確保を重点に行われ、見学に訪れた地域住民たちにも緊張が走りました。

ヘリで到着した小林誠人医師は「山間部での緊急医療の実施は大きな進歩。今後、訓練を重ね、より良い医療がスムーズにできるよう努力したい」と力強く語りました。

その後に行われたヘリ内部の紹介などに、見学者は興味津々に見聞きしていました。



▲住民たちがヘリ内部を見学。「非常時には頼りにします！」

但東

2010たんとうチューリップまつり
フラワーアートで応援

「頑張れ、ニッポン！」

4月9日、但東町畑山のチューリップ畑で「たんとうチューリップまつり」が開幕しました。恒例のフラワーアートは、サッカーボールをける「ぞうさん」で、これは、南アフリカ共和国で開催されるワールドカップサッカーを応援しようとしたものです。

月初めの寒い日が影響し、約半数の開花となりましたが、当日は天候に恵まれ、開会と同時に一斉に風船を飛ばした地元の保育園児約60人の楽しそうな笑顔が咲きました。

園児らは「ぞうさんが大きくなってかわいい」「つぼみが多いけど、チューリップ大好き」などと話し、はしゃいでいました。



▲色とりどりのチューリップで描かれるフラワーアート